

- アクトネル錠
 - ダイドロネル錠
 - フォサマック錠
 - ペネット錠
 - ボナロン
 - (錠・経口ゼリー・点滴静注)
 - ボノテオ錠
 - リカルボン錠
 - その他
- アレディア点滴静注用
 - ソメタ点滴静注
 - テイロック注射液
 - ボンピバ静注
 - アレンドロン酸ナトリウム錠
 - リセドロン酸ナトリウム錠
 - ゾレドロン酸点滴静注液
 - パミドロン酸二Na点滴静注用

年 月 日から **ビスホスホネート系薬剤**
 (年 月 日まで) を使用しています

歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤の治療を受けているか、治療を受けたことがあります。

- 顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわれることがあるので、抜歯等の侵襲的歯科処置はできるかぎり避けてください。
- 処方の変更や中止の要否を処方医にご相談ください。
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください。
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください。

NS-02
2014年6月改訂

歯科・口腔外科を受診する場合は
このカードをご提示ください


私はビスホスホネート系薬剤による
治療を受けています

病院名・薬局名(連絡先)

これからこの薬剤で 治療される患者さんへ

- 医師、歯科医師と相談の上、できるかぎり抜歯などの歯科治療は、この薬剤の治療を始める前に済ませてください。

この薬剤で治療中の患者さんへ

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
 - 定期的な歯科検査を受けてください。
 - 抜歯などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。
- 

- 下記の症状があらわれた場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。

- あごの痛み
- 歯のゆるみ
- 歯ぐきの腫れ など